

令和元年度教育研究活動報告書

氏名	小野環	所属	芸術文化学部美術学科
学位	修士	職位	教授
専門分野	絵画・インスタレーション		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	デッサン基礎実習、総合基礎実習、油画実習Ⅰ、油画実習Ⅱ、油画実習Ⅲ、古美術研究演習、卒業制作、空間造形論、美術表現入門、尾道学入門
大学院	油画研究ⅠB、油画研究ⅡB、絵画総合演習
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）絵画、ドローイング、立体作品の制作・研究	
（2）場の特性を活かしたインスタレーション作品の制作・研究	
（3）文化的背景を活かした新たな表現活動の場の創出	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R1・H30・H29	
R2	《Scab》 ※共三上清仁 尾道ガウディハウス、尾道 木目調トタン、木材 《Scab》 ※共三上清仁 尾道ガウディハウス、尾道 鏡面ステンレス、モルタル、塗料 《Encyclopedia Facadism》 UCLスレード美術大学、レーザープリント、ボール紙、木材
R1	《再編 増頁》 “The Book of Sand” altern'art cy、書籍（教科書、社会科日本史資料集、接着剤） 《蜘蛛の糸》 “The Book of Sand” gallery lala Tokyo、書籍、接着剤 《Re-edited stratum 03》、《Re-edited stratum 05》、《Re-edited stratum 06》、《Re-edited stratum 07》《Re-edited stratum 08》、《Re-edited stratum 09》、《Re-edited stratum 12》、《Re-edited stratum 13》、《Re-edited stratum 14》、《Re-edited stratum 16》、《Re-edited stratum 17》 油彩、キャンバス 《Trace of House 30》《Trace of House 31》油彩、キャンバス 《Scab Jerryfish》 ※共三上清仁 尾道市立美術館FROM HERE TO BEYOND、尾道 瓦礫、廃品、ブルーシート、木材、ライトほか 26.2018年 《Scab》 ※共三上清仁CCOクリエイティブセンター大阪、大阪 瓦礫、セイタカアワダチソウ 《Scab》 ※共三上清仁CCOクリエイティブセンター大阪、大阪 瓦礫、セイタカアワダチソウ 《Re-Frame》 CCOクリエイティブセンター大阪、大阪 木材、紙、写真、アクリル、サイズ可変
H30	《Trace of House》「静界」大新美術館、台南 油彩、キャンバス、油彩、キャンバス53cm×45、5cm 15枚組 “Exchange Exhibition Onomichi City University x National Chiayi University”、 《Scab 無意識の表面》共三上清仁 ストーク=オン=トレント、airspace gallery airspace galleryにおけるインスタレーション。ブルーシート、植物、廃棄物、インク、アクリル塗料 《Scab》※ 共三上清仁 ストーク=オン=トレント、ストークオントレント、ブラウンフィールドにおけるサイトスペシフィックインスタレーション 《公団住宅》 「複数形の世界のはじまりに」東京都美術館、東京 百科事典、接着剤 《粘土還り》 「複数形の世界のはじまりに」東京都美術館、東京 油粘土、アクリル絵具、アクリル板、ペニア 《粘土還り》 「複数形の世界のはじまりに」東京都美術館、東京 油粘土、書籍『原色日本の美術<28> 近代の建築・彫刻・工芸』、電球、構造用合板、ターンテーブル 《粘土還り》 「複数形の世界のはじまりに」東京都美術館、東京 油粘土、地球儀、構造用合板 《粘土還り》 「複数形の世界のはじまりに」東京都美術館、東京 油粘土、書籍『岡山の彫像（岡山文庫（138））、電球、構造用合板ほか 《粘土還り》 「複数形の世界のはじまりに」東京都美術館、東京 油粘土、書籍『原色日本の美術<28> 近代の建築・彫刻・工芸』、構造用合板、ターンテーブル 《粘土還り》 読みの違い 「複数形の世界のはじまりに」東京都美術館 書籍『日本の画家～近代洋画～（カラーボックス270）』2冊、接着剤、引き出し、アクリル板

《粘土還り》 「複数形の世界のはじまりに」東京都美術館、東京 油粘土、書籍『原色日本の美術<28>近代の建築・彫刻・工芸』、構造用合板、ターンテーブル

《Territory》シリーズ なかた美術館、尾道市 油彩,キャンバス 53cm×45.5cm 6点

《Trace of House》シリーズ なかた美術館、尾道市 油彩,キャンバス 53cm×45.5cm 7点

H29 《再編スタジオ》廿日市アートギャラリー室内、廿日市『日本の画家—近代洋画』カラーブックス,接着剤  
《その後—一時停止》 廿日市アートギャラリー室内、廿日市『日本の画家—近代洋画』カラーブックス,接着剤  
《再編》 Gallery Lala Tokyo、東京『日本の画家—近代洋画』カラーブックス,接着剤  
《Scab》※ 共三上清仁 Goodman Art Center、シンガポール 木材、トタン、プラスチック、紙ほか  
《Scab》※ 共三上清仁 Goodman Art Center、シンガポール オフセット印刷、紙、糊  
《再編 千の本》 尾道市立大学美術館、尾道『日本の画家—近代洋画』カラーブックス,接着剤

#### H28以前の主な研究業績

(1) 1999年 キツネ作戦/フタバ画廊、東京

(2) 2003年 VOCA展/上野の森美術館、東京

(3) 2008年 「gardens 植木鉢の冒険」/ふくやま美術館、福山

(4) 2008年 tina.b 2008 プラハ国際コンテンポラリーアートフェスティバル/プラハ市内各所、チェコ共和国※

(5) 2013年 「ユートピアの迷子石」/Utopiana、ジュネーブ※

学会、所属団体における活動 (本年度を含む過去3年間の研究業績) H29・H30・R1

所属学会・所属団体 役職等と任期

H30,H29,H28 AIR Onomichi 実行委員会代表 NPO法人尾道空き家再生プロジェクト副代表理事

#### IV 社会活動

##### 1. 学外活動(本年度1年間の活動状況)

(1) AIR Onomichiでアーティストを招聘。

(2) NPO尾道空き家再生プロジェクトの副代表理事として活動

(3) ひろしまトリエンナーレ実行委員、尾道市空き家対策委員会 委員長をつとめる。

公開講座	0回
講演会	12回
出前授業	1回
その他( )	回

- 1.ART TODAY「マイクロレジデンス」 7/4 愛知県立芸術大学研究棟ロビー、名古屋
- 2.ひろしまトリエンナーレ「歴史塾」 7/6,7/14,9/21、ULTLA、尾道
- 3.「負の地域資源と美術活動」7/17 佐賀モバイル・アカデミー・オブ・アート(SMAART) 主催、レクチャー&サイトツアー-光明寺會館、SIDDRA HOUSE、みはらし亭
- 4.「負の地域資源と美術活動」8/18 立正大学学生対象レクチャー&ツアー、光明寺會館ほか
- 5.「尾道旧市街の問題点と活動」8/23 2019年度尾道市立大学日本文化研修レクチャー、サテライトスタジオ
- 6.「AIR Onomichi」8/27 空き家再生夏合宿での活動紹介レクチャー、光明寺會館
- 7.「AIR 物件のこれまで」9/26 NPO法人尾道空き家再生プロジェクト主催、松翠園大広間
- 8.AIR Onomichiの視察ツアー-11/16 石橋財団・国際交流基金 現代美術キュレーター等交流事業。インディアナポリス美術館、クリーブランド現代美術館、ウォーカーアートセンター、サンフランシスコ現代美術館、現代美術センター(シンシナティ)の学芸員を対象にプロジェクトの解説を行った。光明寺會館、SIDDRA HOUSE、高橋家
- 9.オランダスリの森で」11/30 マレーシアでのワークショップの報告会。光明寺會館
- 10.「これまでの活動」12/19 「来年度企画キックオフミーティング」塩江町上西小学校、高松市
- 11.「Inside and outside of the studio」1/21 UCL Slade School of Art、ロンドン
- 12.「Balai Sewang Workshop」2/14 バライセワン、タクン村、ペラ州、マレーシア

NPO法人尾道空き家再生プロジェクト副代表理事として、旧市街斜面地の空き家の再生活動に参加。  
AIR Onomichi実行委員会代表として旧市街斜面地の空き家・廃墟での美術活動を推進。  
光明寺會館でのレクチャープログラムをコーディネート。登壇者のゲスト講師に対してインタビューを実施。

##### 2. 委員会及び協議会委員(本年度1年間の活動状況)

	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数(回)
(1) 尾道市関係			
(2) 尾道市以外	令和1年度 ひろしまトリエンナーレ実行委員会	委員	1回